

2013年3月28日

東南アジア、インド、オセアニアにおける事業支援統括会社の新設について

住友化学は、このたび、東南アジア、インド、オセアニア地域（以下、当地域）における事業支援の統括会社として、「住友化学アジアパシフィック社」をシンガポールに新たに設立し、2013年4月1日から営業を開始することといたしました。

住友化学は、1984年操業開始の「シンガポール石油化学コンビナート」の中核企業として同プロジェクトを推進するなど、かねてから当地域において積極的に事業を拡大してまいりました。現在、8カ国に22のグループ会社が事業を展開する当地域は、当社がグローバル経営を推進する上で重要な役割を担っております。

6億を超える人口と約2兆ドルのGDPを有する東南アジアを含む当地域は、域内外の国や地域との経済連携の進展などにより、今後もさらなる成長が見込まれています。住友化学は、成長市場である当地域で事業機会を確実に取り込むとともに、新たな事業開拓を推進し、より効率的で的確な事業運営を行うため、このほど、現地に事業支援の統括会社を新設することとしたものです。

新会社は、住友化学の本社組織として4月1日付で設置される「アジア地域統括本部」と連携しながら、政府等の関係機関とのネットワーク構築をはじめ、情報の調査・収集・解析や当社グループのプレゼンスの拡大など、当地域における代表機能を果たすとともに、グループ会社による事業企画立案への支援のほか、人事、経理、経営情報システム、コンプライアンスに対する支援など、事業運営のための専門的なサービスの提供を行ってまいります。

<新会社の概要>

会社名	Sumitomo Chemical (Asia Pacific) Pte Ltd
設立	2013年3月
所在地	シンガポール
資本金	4百万USドル（住友化学 100%）
社長	川井 美雄（住友化学 理事）
対象地域	東南アジア、インド、オセアニア
主な業務	・当地域における代表機能 ・当地域における具体的な事業企画の立案に対する支援 ・当地域内のグループ各社への専門的サービスの提供

以 上